



## 厳しい状況を県勢浮揚の新たな契機に

長崎県知事 金子 原二郎

私は、知事に就任して以来、一貫して県民の視点に立った「県民主役の県政」の実現に取り組み、徹底した事業の重点化や見直しを図るとともに、県立病院の経営や福祉施設の在り方など、時代に合わなくなった仕組みや考え方を思い切ってあらため、さまざまな改革を進めてまいりました。

さらに、本県の将来を見据えて、住民と市や町が主役となる新しいまちづくりを指して市町村合併を推進するとともに、県内経済の活性化や雇用拡大を目標に掲げ、民間の知恵や本県が持つ強みを活かしながら、産業の振興や交流の拡大に向けて積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、昨年秋季以降の我が国の景気の急速な悪化により、県内においても企業経営や県民生活は、かつてないほど厳しい状況にさらされています。

このため、私は、県と市町が一体となり、持てる英知のすべてを結集することにより、これらの支援を活用した取組みが一時的な効果にとどまらず、本県の未来を築く人材の育成や新たな活力の創出など、将来にわたり持続的な効果をもたらす対策となるよう、全力で取り組む必要があるものと考えております。

今年度当初予算においては、このような基本的考え方のもと、公共事業予算を八年振りに増額し一千億円を確保するなど、地域経済を下支えする県内経済の活性化対策や本県の実情に即した雇用対策に最優先で取り組むとともに、社会経済情勢の変化を踏まえながら、子育て家庭や高齢者、障害者など支援を要する方々を支えるきめ細やかな取組みにも、これまで以上に力を注い

でまいります。加えて、新たな産業の育成や新幹線を活用したまちづくり、歴史・文化を活かした交流の拡大など、これまで一貫して取り組んできた施策にも、一層磨きをかけながら、更に前進、発展させてまいりたいと考えております。

### 県内経済の活性化対策

県内経済の厳しい現状を踏まえ、県では、公共事業の追加や増額等に積極的に取り組み、将来実施が必要な事業の前倒しや地域活性化に効果の高い事業の拡充などに努めており、これにより地域経済の下支えと県内企業の受注機会の拡大に向け、切れ目のない対策を講じることとしております。

また、来年は、本県が舞台となるNHK大河ドラマ「龍馬伝」が放映される予定となっており、本県出身の福山雅治さんが龍馬役に決定したこととあわせ、本県の魅力を県外に向けて広く発信し、観光や交流の拡大に結びつけていく、またとない機会になるものと考えております。

私は、この千載一遇のチャンスを最大限に活かし、今の厳しい経済状況を切り開く大きな力に変えていきたいと考え、今年度は、市町や関係団体と連携し、官民一体となった観光客の誘致活動や県産品の販売促進等に積極的に取り組んでまいります。

### 雇用対策

雇用対策については、県内においても、雇止めなどにより離職せざるを得ない方々が増加している状況にあり、私は、自らが先頭に立ち、こうした離職者の方々の不安を解消し、一刻も早く確かな雇用につけていくという強い決意のもと、最優先で取り組んでおります。

このため、国の雇用対策関係の交付金を有効に活用しながら、新規就農者の育成、耕作放棄地の解消、水産業の担い手確保、森林の整備、認定こども園での子育て支援、障害者の求人開拓など、当面する課題の解決や将来の県勢浮揚につながる雇用対策に総力を挙げて取り組んでまいります。

### 県民の暮らしの安心の確保

学校は児童・生徒が一日の大半を過ごす場所であり、災害発生時には避難場所となるなど、防災拠点施設としても重要な役割を担っていることから、県としては、子どもの安全を最優先に考え、一刻も早い耐震化の完了に向け取り組んでまいります。

このため、県立学校の耐震化については、事業計画の前倒しに取り組むとともに、今回、公立学校に加えて、私立小中学校や高校、幼稚園、保育所などについても、「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用しながら、設置者の負担軽減を図る新たな補助制度を創設し、積極的に支援してまいります。

また、育児に不安を抱えながら在宅で三歳未満児を育てている家庭を支援するため、市町と連携したきめ細かな支援体制の構築を進めるとともに、出産直後に育児や家事の支援を受けられない家庭を支援するため、サポーターの養成や利用者への助成を行ってまいります。

私としては、この一年、不転換の決意をもって、今日のこの厳しい状況を県勢浮揚の新たな契機に変え、県内経済の活性化や県民の雇用・暮らしの安定に結びつけることができるよう、渾身の努力を傾注してまいります。